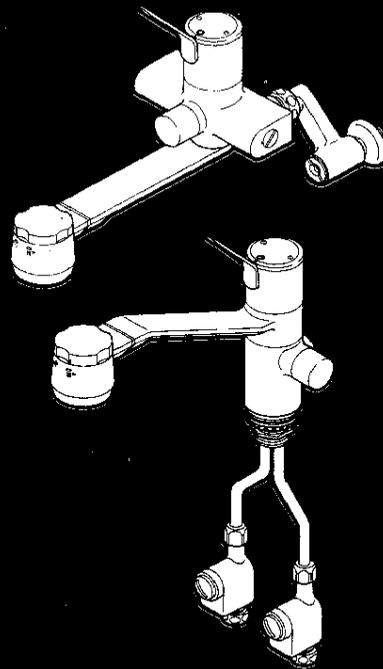


シングルサーモ混合栓

TOTO

ご愛用のしおり



- このたびは、TOTOシングルサーモ混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

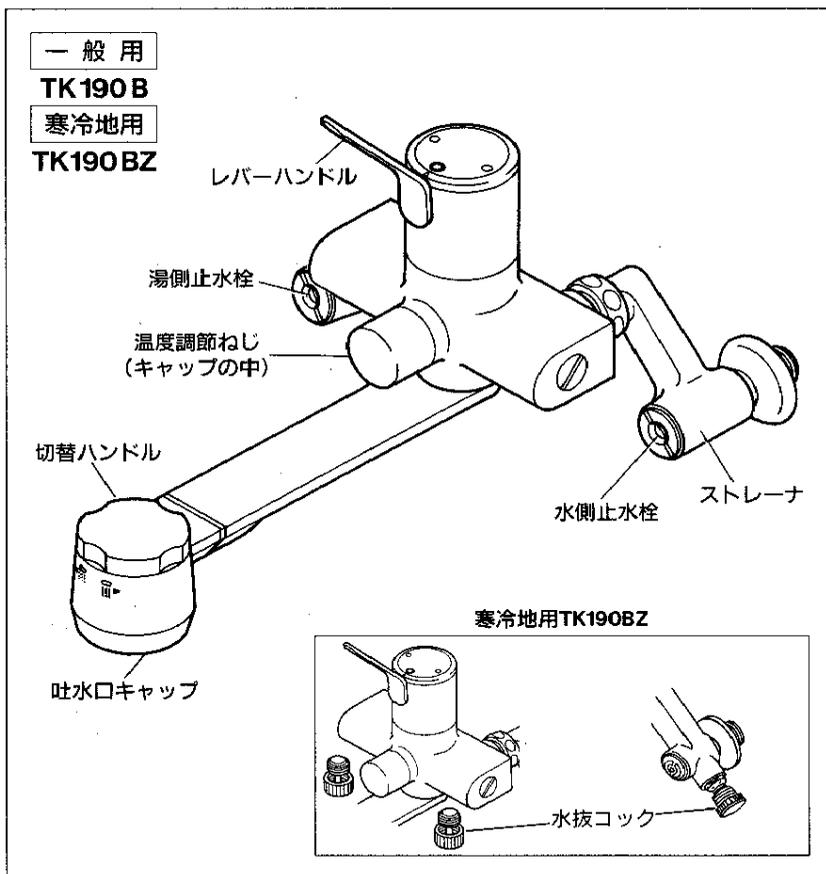
特長・各部のなまえ	1・2
つかいかた	3・4
使用上の注意	5・6
適温調節のしかた	7
凍結予防のしかた	8
ストレーナの掃除	9
故障したときは	10

特長・各部のなまえ

1. 操作が簡単です。

レバーハンドルの方タッチ操作で、吐水・止水、温度調節から吐水量の調節までできます。

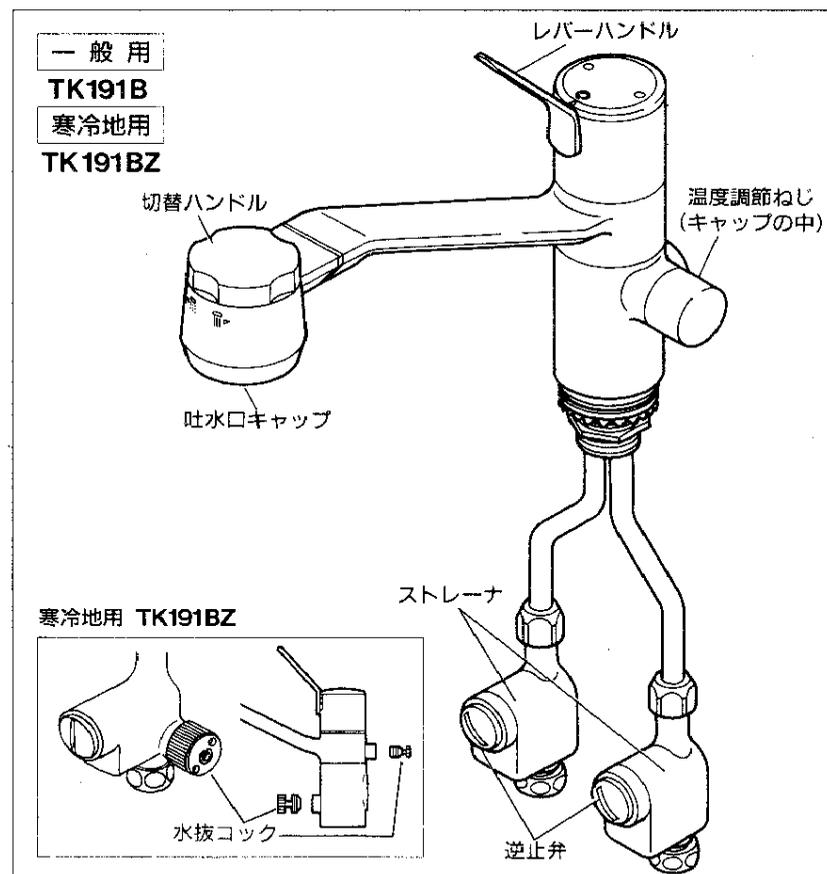
切替ハンドルにより、整流吐水とソフト吐水に切替えることができます。



2. サーモスタットによる自動温度調節で安定した温度の湯が使えます。

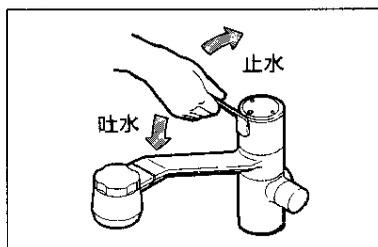
操作時の目印としてレバーハンドルの操作範囲内にクリック感（カチッと
する感じ）を設けました。

このクリックポイントには、台所作業で頻繁に使う温度（約38℃）を自動
調節するように、サーモスタット機構を組み込んでいます。



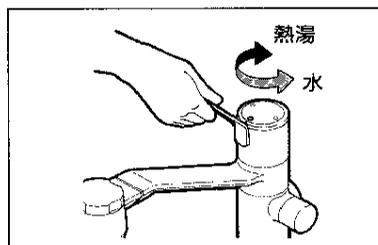
つかいかた

1. 吐水と止水



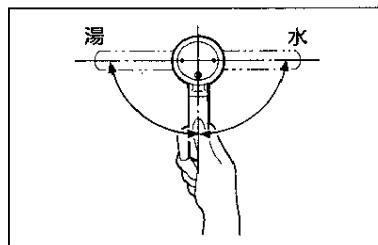
どの位置でも、レバーハンドルを下
げると吐水し、上げると止水します。
吐水量はレバーハンドルを下げるに
したがって多くなります。

2. 温度調節



温度調節はレバーハンドルの回転で
行います。レバーハンドルを右にい
っぱい回すと水、左に回すにつれて
徐々に温度が上がり、左いっぱい
で最高になります。

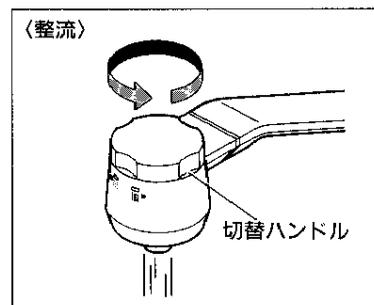
3. クリック感



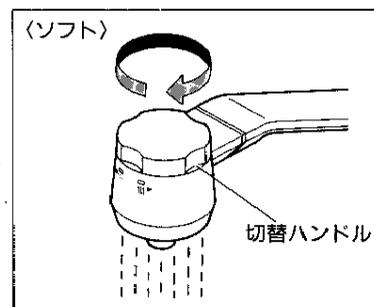
レバーハンドルの回転角度は中央か
ら左右へ90°です・中央の位置(黄色
のポイント)にクリック感(カチッ
とする感じ)を設けています。この
位置での吐水は常に適温(約38°C)
となっています。

〈注〉適温はサーモスタットによって自動
温度調節されていますが、給水・給
湯条件で吐水温度が設定どおりにな
らないことがあります。その場合は
「適温調節のしかた」(7ページ)を
ご参照ください。

4. 吐水の切替



切替ハンドルを左に回すと、整流吐
水します。

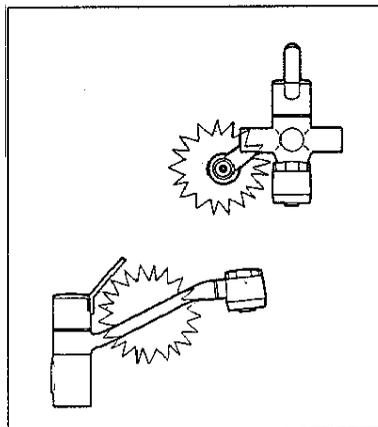


切替ハンドルを右に回すと、ソフト
吐水します。

使用上の注意

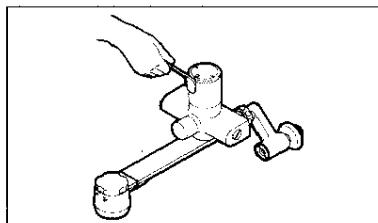
熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. やけどに注意



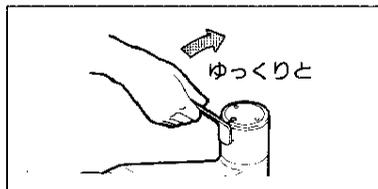
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようご注意ください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、高温の残水を流しておいてください。

2. しばらく吐水させてご使用ください



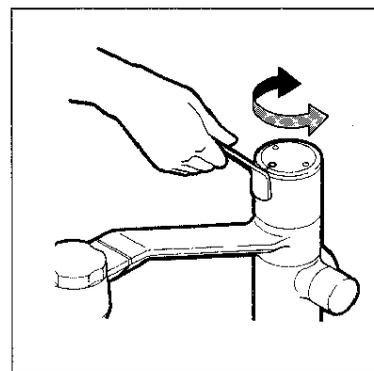
湯を使用した後、次に使用するとき若干温度変化する場合がありますので、しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。

3. ハンドルの操作はゆっくりと



水を止めるときは、レバーハンドルをゆっくり上に上げてください。急に上げると、水撃による音が出る場合があります。

4. 温度調節はゆっくりと



レバーハンドルはゆっくり回してください。急に回しますと温度があがり過ぎる場合があります。

給湯機が瞬間型の場合

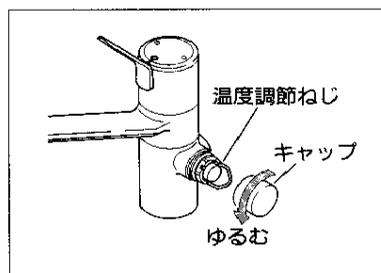
1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので、レバーハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
2. 給水圧力が高く吐水量が多すぎる場合はレバーハンドルで調節を行ってください。（レバーハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。）
3. 混合水栓から吐水する温度より10°C以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度（能力切替式の場合は能力）を少し下げてください。
 - 給水圧力が低いとき。
 - 水温が高いとき。

適温調節のしかた

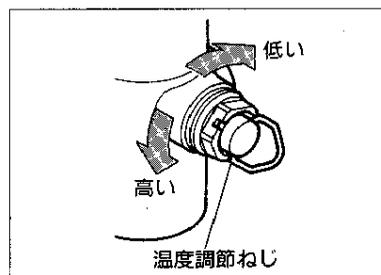
適温はあらかじめ約38℃に設定していますが、お好みに応じて約33℃～43℃の範囲で調節することができます。

●調節する前に

- (a) ストレーナのごみづまりはないか確かめる。
- (b) 止水栓が全開しているか確かめる。
- (c) 十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか確かめる。
- (d) レバーハンドルを中央の位置（黄色のポイント）に合わせる。



キャップを回して外します。

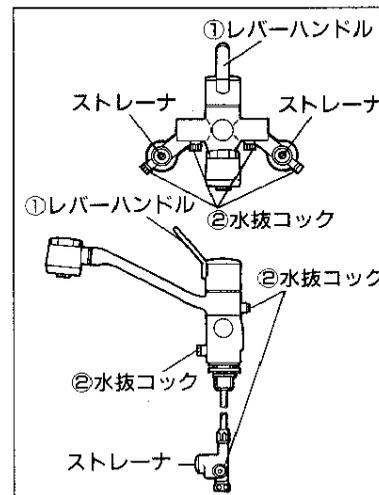


スパウトより吐水させたまま、温度調節ねじを回し、お好みの吐水温度に合わせてください。

調節が終わったらキャップをもとどおり取付けてください。

- 温度調節ねじはゆっくり回してください。急に回しますと、温度が一時的に上がり過ぎる場合があります。

凍結予防のしかた



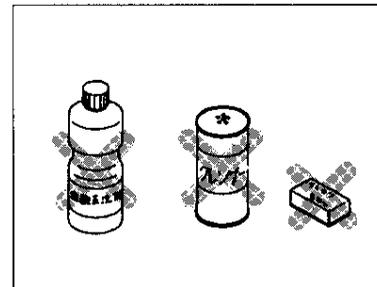
凍結のおそれがある場合は、水抜栓の操作と合わせて次の順番に操作し、器具内の水抜きをしてください。

- ① レバーハンドルを中央の位置で下げる。
- ② 水抜コックを開く。(受皿等で水を受けてください)
- ③ レバーハンドルを左いっぱいに戻し、水が出なくなったら右いっぱいに回す。

水抜きを行っていても、ストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、吐水しない場合がありますので、そのときはぬるま湯であたためてください。

手入れのしかた

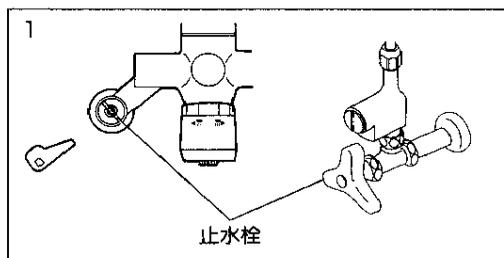
いつまでも美しさを保つためにふだんは柔らかな布でふき、めっきされたところはときどきシンナー油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失いますので付着しないよう十分注意してください。



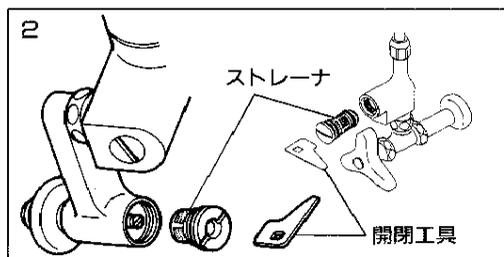
クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。カラー塗装品は付属の取扱説明書をご覧ください。

ストレーナの掃除

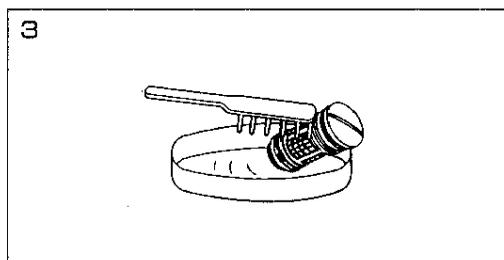
ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



止水栓を開めてください。



開閉工具を溝に差し込みストレーナをゆるめてください。



ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取り除いてください。

故障したときは

故障したときの修理は取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらもよりの当社各支社、支店、営業所にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

現象	お調べいただくところ
<ul style="list-style-type: none"> ■吐水量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていませんか。
<ul style="list-style-type: none"> ■高温しか出ない ■低温しか出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていませんか。 ●給湯機の温度設定は適切ですか。
<ul style="list-style-type: none"> ■適温の湯が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていませんか。 ●温度調節ねじの設定は適切ですか。 ●レバーハンドルは中央の位置ですか。

※点検のしかたは「ストレーナの掃除」、「適温調節のしかた」の項をご参照ください。

※TK190B、TK190BZの場合カラー塗装品の止水栓の開閉をされる場合は、表面が傷つきやすいので必ず付属の開閉工具をご使用ください。

本体内部は分解しないでください

本体内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

- メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()